

令和元事業年度

決 算 報 告 書

自：平成31年4月 1日

至：令和 2年3月31日

国立大学法人長崎大学

令和元年度 決算報告書

国立大学法人長崎大学

(単位:百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	15,676	15,774	98	(注1)
施設整備費補助金	2,762	1,436	-1,326	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
補助金等収入	3,516	2,804	-712	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	41	41	-	
自己収入	34,531	36,587	2,056	
授業料、入学料及び検定料収入	4,870	4,784	-86	(注4)
附属病院収入	29,036	31,194	2,158	(注5)
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	625	609	-16	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	4,840	6,081	1,241	(注7)
引当金取崩	768	795	27	(注8)
長期借入金収入	1,500	1,500	-	
貸付回収金	-	-	-	
前中期目標期間繰越積立金取崩	835	299	-536	(注9)
計	64,469	65,315	846	
支出				
業務費	49,557	48,855	-702	
教育研究経費	20,201	20,114	-87	(注10)
診療経費	29,356	28,741	-615	(注11)
施設整備費	4,303	2,977	-1,326	(注12)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	3,516	2,804	-712	(注13)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	4,840	4,610	-230	(注14)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	2,253	2,230	-23	(注15)
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	-	-	
計	64,469	61,475	-2,994	
収入-支出	-	3,840	3,840	

## ○予算と決算の差異について

(注1)運営費交付金については、予算段階で見込んでいなかった特殊要因経費の追加交付があったため、予算金額に比して決算金額が98百万円多額となっております。

(注2)施設整備費補助金については、(坂本)実験研究棟等の事業費の一部が翌年度に繰越となったため、予算金額に比して決算金額が1,326百万円少額となっております。

(注3)補助金等収入については、国立大学先端研究等施設整備費補助金等の一部が翌年度に繰越となったため、予算金額に比して決算金額が712百万円少額となっております。

(注4)授業料、入学料及び検定料収入については、入学料猶予の増加等により、予算金額に比して決算金額が86百万円少額となっております。

(注5)附属病院収入については、手術件数及び高額注射薬剤の増加等により、予算金額に比して決算金額が2,158百万円多額となっております。

(注6)雑収入については、予算段階で見込んでいた収入の減少により、予算金額に比して決算金額が16百万円少額となっております。

(注7)産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究の受け入れ増加等により、予算金額に比して決算金額が1,241百万円多額となっております。

(注8)引当金取崩については、賞与引当金対象者の増加等により、予算金額に比して決算金額が27百万円多額となっております。

(注9)目的積立金積立金取崩については、附属病院院内環境整備及び医療機器整備等事業の事業年度計画変更等により、予算金額に比して決算金額が536百万円少額となっております。

(注10)教育研究経費については、効率的な事業実施を行ったこと等により、予算金額に比して決算金額が87百万円少額となっております。

(注11)診療経費については、診療稼働の増加に伴う材料費及び医薬品費の増加等により多額となる要因があったものの、賞与引当金の取崩により、予算金額に比して決算金額が615百万円少額となっております。

(注12)施設整備費については、(注2)で示した理由等により、予算金額に比して決算金額が1,326百万円少額となっております。

(注13)補助金等については、(注3)で示した理由等により、予算金額に比して決算金額が712百万円少額となっております。

(注14)産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、受託研究費等の繰越の増加により、予算金額に比して決算金額が230百万円少額となっております。

(注15)長期借入金償還金については、利率が見直され支払利息が減少したこと等により、予算金額に比して決算金額が23百万円少額となっております。